

## 編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/32528">http://hdl.handle.net/2297/32528</a>

## 編集後記

○「金沢大学国語国文」第三十七号をお届けします。

○本号は論文・翻訳・研究ノートの十一篇が集まりました。玉稿をお寄せくださいました会員の方々に感謝申し上げます。なかでも大学院博士前期課程（修士課程）生三名、人文学類生二名の論文・翻訳を掲載できたことは担当者として大きな喜びです。

○本年度の総会でもご報告申し上げましたが、本会は現在たいへん厳しい財政状況にあり、本会および本誌の維持・発展のためにはさまざまな見直しが必要です。その一環として本号より印刷所を変更いたしました。雰囲気がこれまでとすこしちがいますが、そういう事情によるものです。ご了承ください。

○本年度の大会を十月一日（土）十三時より金沢大学サテライトプラザにて開催いたしました。前期課程生五名の研究発表に加え、昨年度着任の戸渉准教授にお願いし、「周縁から眺める 上田秋成の門人研究」というご講演をしていただきました。懇親会は十八時より金沢市民ホール内レストラン「紅梅」にて開催いたしました。福祉作業所の運営ということもあつて、手作りのパンやサラダなどの料理がならび、またアルコール類の持ち込みも自由で、在学生も多数参加しました。手前味噌で恐縮ですが、和やかな雰囲気になったのではないかと考えております。

○ところでこの懇親会を本年度は「同窓会」と銘打って告知いたしました。「学会」では気が重いという方でも「同窓会」なら気軽に過ごしいただけるのではないかと愚考した次第です。もちろ

ん、「同窓会」のみの参加も大歓迎です。

○これまでも、大会はだいたい十月の第一土曜日に開催しておりますが、できれば当分は「大会」「同窓会」の時期と場所をここに固定したいと考えております。お心におとどめ置きくださいませう、お願いいたします。

○在学生と話していると、卒業生の方々がどこどのように活躍しているのか知りたいという気持ちが強いです。たとえばこの「同窓会」のような機会に在学生ともふれあっていたければ幸いです。  
(杉山記)